

令和6年度志布志市自主文化事業

EBIHARA KINOSUKE

海老原喜之助

生誕120周年 記念作品展

1904—1970

1904年鹿児島市に生まれ、志布志中学校(現志布志高校)在学中の夏休みを利用し有島生馬に師事、川端学校に通う。翌年中学校の卒業式を待たず再上京し、翌年フランスに渡る。パリでは藤田嗣治の薫陶を受けエコール・ド・パリの次代を担う作家として注目され、造形の鬼才と呼ばれる。素描に対する考え方は海老原芸術の根幹であり、デッサンと私の中で「素描とは写生したり石膏像を写したりすると思われがちだが、それは違っている。素描とは、紙とか板とかに黒と白の単色で描く絵のことであって、1、2本のペンや鉛筆などの線描きから、雪舟の水墨画のような完璧な絵画に至るまでをいう。それはすべての絵画というものの条件を備えていなければならない」と語っている。

本展は、生誕120周年を記念して、水彩、素描、リトグラフなど初めて志布志にて展示します。会期中は海老原あかね氏(実孫)がご案内します。

また、ご来場者先着100名様に海老原喜之助画伯オリジナルクリアファイルをプレゼントします。

2024 9/10(水) - 9/20(金)

観覧料：無料 開館時間：11:00~18:00

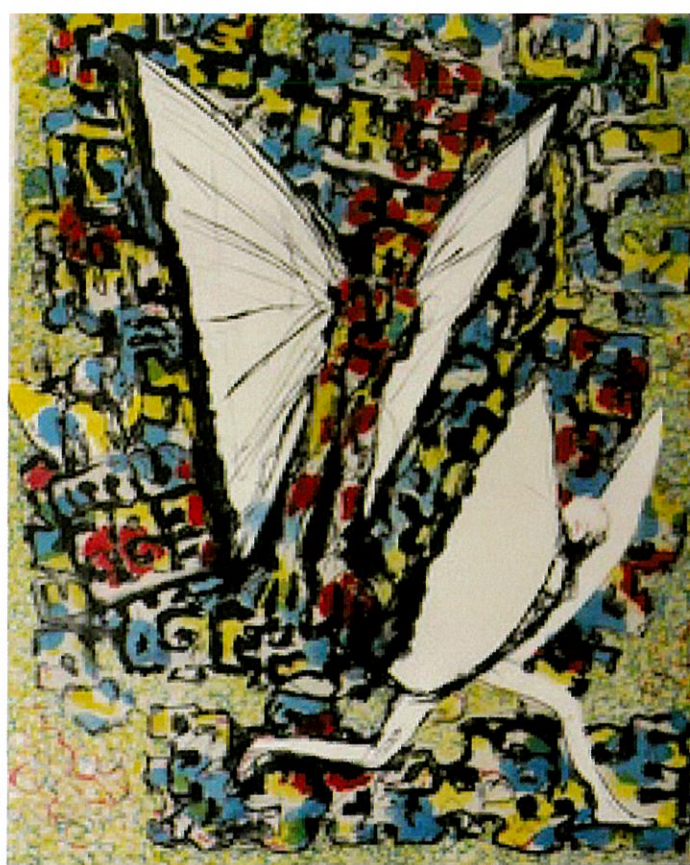
休館日：9月17日(火)

主催：志布志市・志布志市教育委員会

協力：GALLERYえびはら・ギャラリーF

コミュニティーセンター志布志市文化会館

志布志市志布志町志布志2238-1 Tel: 099-472-3050



蝶



街角